

## 既存資料を用いた観察臨床研究

研究題名「気管支サーモプラスティを行った気管支喘息患者における気道過敏性の変化の検討」

現在当院呼吸器内科では、2016年8月から2020年12月までの間に東北労災病院を受診し、喘息に関する診療記録が存在する患者さんの中で気管支サーモプラスティを行った患者さんを対象として、気道過敏性や肺機能の変化について調査を行っています。目的はまだ明らかになっていない気管支サーモプラスティの肺機能や気道過敏性への影響を明らかにすることです。研究実施期間は倫理審査承認日から2021年3月31日です。この調査は東北労災病院の倫理委員会の審査を受け許可を得て行っており、結果は学会や学術誌に報告する予定です。データはすべて匿名化し、個人を特定できる情報の流出がないように細心の注意を払いますが、ご自身のデータ使用を希望されない方がいらっしゃいましたら、ご連絡をいただければそのように対応いたします。なお、その場合においても患者さんが診療上不利益をこうむることは一切ありません。また、研究計画書および研究の方法に関する資料は入手閲覧可能です。ただし他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護などに支障がない範囲内に限られます。この研究につき、お問い合わせ・ご質問・ご要望などがございましたら下記まで連絡をいただきますようお願いいたします。

責任者：東北労災病院 呼吸器内科部長 三浦 元彦

問い合わせ先：

東北労災病院呼吸器内科 谷津 年保

〒981-8563 宮城県仙台市青葉区台原 4-3-21

TEL 022-275-1111（代表）（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）